

原油高騰を背景に、木材の海上輸送コストが急上昇している。木材製品輸送の主力であるコンテナは、船社各社が08年1月からの新たな燃料代（バンカーチャージ）引き上げを発表、主要航路とも大幅高となった。コンテナ船各社は需要増に伴い、コンテナのベースレート引き上げにも動いており、年明けからの海外産地の日本向け木材製品価格引き上げの有力な根拠となるのは確実だ。原油高騰は国内の輸送、製造コストも直撃しており、一連のコスト高をどう販売価格に反映させていくか、正念場に来ている。

北欧州出しの日本向

はコンテナ船バンカー  
アジャストメントファ  
クター（BAF）は、  
EMA及びFEFCの  
決定に従い、08年1月  
から40フィコンテナ1本  
当たりの974ポンドに17  
6ポンド（22.1%）引き  
上げられた。同航路で  
は併せて為替変動に応

## コンテナ船バンカーチャージ

# 1月から大幅高に

## 製品輸送コストを直撃

北米出し日本向けコンテナ	13.2%	14.8%
北米出し日本向けコンテナ	13.2%	14.8%
コンテナは08年1月から		
バンカーチャージ（B		
CAF）も現行の十		

本当の950ポンドに1  
80ポンド（23.4%）引  
き上げる。いずれも荷  
受けベースで1月1日  
から1月31日までの適  
用としている。

コンテナ船のBC関  
係値上げは07年12月1  
日から北米航路で前月  
比10.3%、北欧州航  
路で同9.6%をそれぞ  
れ上昇しているが、今  
回の上げ幅は12月比で  
倍以上となった。木材  
製品1立方尺当たりのB  
Cコストは215.22ポンドに  
相当すると見られる。

コンテナのベースレート  
そのものの引き上げも  
要請しており、全体ど  
しての輸送コストは大  
幅に上昇してくる見通  
し。中国出し日本向け  
はコンテナ需要が極め  
て強いことを背景に、  
「湾岸危機以来のベー  
スレート引き上げを要  
求されている」（輸入  
元）との指摘も。

コンテナの需要が極め  
て強いことを背景に、  
「湾岸危機以来のベー  
スレート引き上げを要  
求されている」（輸入  
元）との指摘も。

特にカナダ・BC州  
沿岸出しの木材製品に  
ついては主力となるブ  
レックバルクが製材等  
の輸送から引き上げる  
ケースが増えており、

否応なしにコンテナシ  
フトを進めざるを得な  
いが、船運賃高をどう  
販売価格に反映してい  
くかでシッパ―各社は  
悩んでいる。